

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 11月 1日

事業所名 コペルプラス宮崎駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		
	②	職員の配置数は適切である	6	0	児発管を除き 5名の指導員が配置されています。ご利用者の皆様に安心してご利用いただけるよう十分な職員配置となっています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3	プレイルームは、子どもによって広すぎる空間となることがあり、区切って使用するなど工夫しています。	ビルの構造上、出入り口から階段があります。フロア内は段差はありませんが、車いす等を必要とする利用者を受け入れる際には事業所スタッフ、保護者の介助が必要になる場合があります。 また、雨天時はビルの出入り口が滑りやすく、危険な箇所ではあります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	清掃等は、職員間で当番制により滞りなく行うように努めています。	来室される皆様に、安心して過ごせる環境作り、日々の清掃を徹底して継続します。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	保護者様からいただいたアンケート結果を本社に共有し、業務改善等に取り組んでいます。	改善を行った点については、具体的にどのように改善を行ったのか、保護者の皆様にもお伝えしていきます。

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	令和2年に開所して以来、毎年ホームページに後悔し、宮崎市障がい福祉課への掲載の報告も必ず行っています。 また、集計結果の公表については保護者様へLINEアプリを使用して閲覧のご案内しております。	保護者の皆様からいただいたご意見は、事業所内で共有して改善に努めて参ります。  事業所評価の掲載が完了しましたら、引き続き掲載完了をお知らせします。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		第三者による外部評価は、実施していません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	0	6		会社内で開催される研修には参加しているが、外部で行われる研修に参加できていないため、研修会への参加も業務に支障が出ない範囲で計画していきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	アセスメントやレッスン後のフィードバックの内容をもとに、個別支援計画へ反映させていただいております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	「児童発達支援ガイドライン」の内容をもとに個別支援計画を作成し、支援事項が具体的に分かりやすい内容で作成できるように努めています。	

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	スタッフ全員で統一した支援を遂行できるように努めています。	支援計画作成は、「アセスメント」⇒「個別支援計画（原案）作成」を作成し、その後「事業所スタッフ間での支援者会議」⇒「個別支援計画（本計画）作成」の行程で作成しています。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	1		母子通園・保護者の送迎が必須のため、個別療育のみ利用されている方もおられます。保護者様の意向を第一優先で、安心してご利用いただけるよう配慮いたします。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	9:30～9:50、13:30～13:50の計40分間で、当日のレッスンの打ち合わせやすでに行われたレッスン内容の引継ぎを全体で必ず行っています。	保護者の方から共有していただいたお子さんの様子や、保護者の方が抱えているお悩みについても、漏れなく共有して、一つずつ解決できるように努めます。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	紙媒体・デジタルの両方でサービス提供記録を作成。保護者の方へも共有しております。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	適宜、ケース会議や支援者会議を開催して、課題解決に努めています。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	主に児発管が参加。その日の状況に応じて可能な限り、療育にあたる指導員も参加しています。	担当者会議が開催される時間や場所によっては、児発管しか参加できないこともあります。その際は、参加できないスタッフからの聞き取りを行って共有します。 また、遠方での開催となり参加できないこともありました。その際は、電話や書面にてお子さんの利用状況を相談支援専門員にお伝えしていきます。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	必要性や保護者からのご要望に応じて、保育園等に訪問して園生活の見学を実施しています。園での様子などを事業所に持ち帰り、スタッフ間で情報共有をしています。	個別支援計画の更新を行う際には、必要に応じてお子さんが通っている保育所等へお電話して、情報共有や生活の様子を聞き取りして、その内容を事業所内で共有しています。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6		医療的ケア児の受け入れ実績はありません。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6		医療的ケア児の受け入れ実績はありません。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2		
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1		

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	専門機関との連携を実施・強化して参ります。	
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4		サービスの提供形態によって、実施できおりません。

保護者への説明責任等	㉒	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	6	保護者様からの要望に応じて、事業所内相談支援を実施しております。	
	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	集団療育や月末に開催されるコミュニケーション内にて保護者同士の情報交換やコミュニケーションをとる機会があります。	
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	適宜、保護者様からの相談に応じて対応させていただきます。	

	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3		
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	個人情報 は、厳密な取り扱いをしております。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1		
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0		
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		未回答～1
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3		
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	本社主催の研修会が定期的開催されており、それに参加しています。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2		現在、該当する児童はおりませんが、必要に応じて速やかに対応できる体制を整え、お子さん保護者の方に了解を得たうえで対応します。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。